

2024-25 年度 第2650地区スローガン
持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable! Learn together Act together

第2650地区〔1961.3.28創立〕

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	池 木 啓 仁
副 会 長	中 井 謙 之
幹 事	丸 野 正 徳
会報・資料委員長	杉 村 喜 之

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第17回(通算3016回)2024年(令和6年)11月26日号

本日の例会(11月26日)

第3回クラブフォーラム(職業奉仕)

次回の例会(12月3日)

ダム四方山話
(一財)日本ダム協会
ダムマイスター 石井秀紀 様

11月19日の例会報告 会長の時間

7月の所信表明でも一部述べたのですが、R.I.(ロータリー・インターナショナル)は、DEI(ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン)、いわゆる多様性・公平性・包括性を重んじて、多文化共生を推奨されています。しかし、私はお国柄によっては相入れにくいこともたくさんあるので、やみくもに移民・移住を受け入れるのはいささかの抵抗があるというふうに考えております。

ここで一つエピソードをお伝えしたいと思います。それは、バングラディッシュから難民として日本にきたイスラム教徒の女性のお話です。彼女は「難民であったから夢を断念した」と言っており、自分は被害者だと主張して話題となったことがありました。その女性は二十歳で難民として日本にやってきて、2人の子どもを育てながら、日本の支援で大学まで卒業し、今はNPO法人でイスラム教徒の難民女性の自立支援の仕事をしております。彼女は医者になりたかったのに、難民だからなれなかったと主張しています。

ちょっと待ってください。日本はあなたを受け入れて、身の安全を保障し、日本の税金で大学まで行かせてあげたんじゃないですか。日本人でも学費が払えず、大学を経済的にあきらめる人もいます。実際コロナ禍のときは、学費が払えず中退する学生が続出したのはまぎれもない事実であります。それなのに、日本への感謝が一切ないのはおかしいと思いませんか。しかも、子ども2人を育て上げた時点で、日本は相当な支援をしているはず。まるで被害者のように振る舞うことは私には到底理解できません。

日本人の常識では考えられないことであります。決して見返りを求めるわけではございませんが、しかし、してもらって当たり前では、残念ながら、日本人の優しさや旅行者に対するおもてなしの心が通じていないと言えるでしょう。こういう人たちなら、本当に来ないでほしいと思いました。

幹事報告

◎委員会別情報集会のご案内

12月3日(火)例会終了後 A班(会員増強、会員選考、職業分類、ロータリー情報、公共イメージ、会報・資料、雑誌・IT、会計、S.A.A.)

ゲスト

赤木 誠様(スポーツアナウンサー 卓話講師)

誕生日祝

清水良彦会員(11月25日)

結婚記念日祝

山本忠行会員(11月21日)

創業記念日祝

森田康宏会員(11月19日) 出川裕一会員(11月25日)

委員会報告及びその他報告

◎親睦委員会

桑 雅宣委員長

地区大会記録誌49ページ目の滋賀第1グループ、大津西・大津東・高島RCの写真が間違っていました。訂正の写真を地区から頂き、ポスティングいたしましたので、差替えをお願いいたします。

◎ローターアクト委員会

川中教正委員長

12月10日(火)午後6時半登録開始、7時開会で、クリスマス例会を開催させていただきます。会場は日本料理市藤さんです。ぜひご参加いただいて、アクトのメンバーとの交流をお願いいたします。

◎職業奉仕委員会

川村英亮委員長

本日例会終了後、エッセンシャルワーカー表彰の打合せを行いますので、委員の方はお残りください。

ニコニコ箱

・スポーツアナウンサーの赤木誠さんをお迎えして、楽しいお話が聞けそうで、大変楽しみにしております。

池木啓仁会員

・赤木様をお迎えして。

中井謙之会員

・赤木誠様ようこそ当クラブへ。本日の卓話楽しみにしております。

丸野正徳会員

・本日の講師、赤木誠様をお迎えして。卓話よろしくをお願いいたします。

山下精久会員

・奈良県下RCゴルフコンペ、参加していただき、ありがとうございました。

垣本喜己会員

・先週、駐車券を紛失した際、川村英亮様、丸野正徳様にお世話になりました。ありがとうございました。

栢岡 進会員

・桑さんお世話になりました。

世古千代子会員

・欠席のお詫び。

喜多輝昌会員

・家族に良いことがありました。

酒本将稔会員

・誕生日祝を頂いて。桑委員長ありがとうございました。

清水良彦会員

・結婚記念日祝を頂いて。先日の家族親睦会では息子がお世話になり、ありがとうございました。

俵本和実会員

4つのテスト〔言行はこれに照らしてから〕

1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか

卓話 「スポーツ中継 よもやま話」

スポーツアナウンサー 赤木 誠 様



昨年の10月末をもちまして、MBSアナウンサーを退職いたしました。現在は、フリーのスポーツアナウンサーをしています。私が自らライフワークとしている仕事が高校ラグビー奈良県大会の決勝でございます。MBSを退職した後も、奈良テレビのご厚意で中継を続けさせていただいております。おとといも橿原陸上競技場から熱戦の中継をいたしました。

初めて中継を担当したのはまだ昭和でした。昭和63年11月、カードは天理高校対天理教校の試合でした。中継がなかった年もありましたので、計算してみますと、今回が35回目の中継ということになりました。

天理対御所実業は、純白のジャージ対漆黒のジャージの対戦です。全国に数多く地区予選がございますけれども、最高レベルの対戦であることは間違いございません。日本最高の予選を中継させていただいて、光栄に思っております。

今年の中継でいつもと違うところがありました。天理高校の選手が左袖に喪章をつけておりました。今年7月に天理高校元監督の田中克己先生がお亡くなりになったからです。田中克己先生といいますと、監督通算20年間で花園優勝2回、準優勝1回、ベスト4が2回という、高校ラグビー界の名将中の名将でございます。そして、ラグビーの普及に大変尽くされた方です。合同練習を申し込めばまず断られない、全国でご指導になり、田中克己ファンが本当にたくさんいらっしゃいました。私も大変良くしていただいて、かわいがっていただきました。田中克己先生が天理高校を退職後も、奈良県決勝が終わると必ずメールが入っているんですね。「赤木さん、今年もありがとうございます。お疲れさまでした」と気にかけていただき、本当に幸せでした。

田中先生との思い出は山ほどあるんですが、一つエピソードをご紹介したいと思います。あれは、平成2年(1990年)1月7日、全国高校ラグビーの決勝戦の日でした。カードは天理高校対大阪の啓光学園です。啓光学園の初めての決勝進出でした。当時、MBSテレビで日曜日の午前中、「桂三枝のスポーツマガジン」という番組がありました。そこで、お昼からの決勝戦の中継を盛り上げようということで、両チームの宿舎に行って中継することになりました。田中先生に相談しますと、「赤木さんに言われたら断れんわ」ということで実現しまして、啓光学園の記虎先生もオーケーを出してくださって、中継が始まったんです。

まず、中継の入りは天理教の秋津大教会です。ここは天理高校ラグビー部の花園の宿舎でした。教会の外観が映って、そして選手がいる100畳ぐらいの大広間に移りますと、選手がジャージ姿で寝ころんだり漫画読んだり、本当に自由にしておりました。

今度は一転して啓光サイドです。啓光学園はたしかホテル京阪だったと思います。レストランに、皆さん制服をびしっと決めて、緊張気味に椅子に座っておられました。本当に対照的な絵が映りまして、放送的にいいですとつかみはオーケーでございました。

演出したような感じの極端な絵が映し出された後、

中継が進んで、「さあそれでは最後に、両監督、エールの交換をお願いできますか」ということになりました。田中先生が間髪を入れずに、「記虎はん、緊張してまっしゃろ」と、啓光学園の記虎先生に呼びかけたんですね。お二人は天理大学の先輩後輩で記虎先生が一個上なんですね。あのときの記虎先生の何とも言えない、うーんという、はにかんだような、緊張したような苦笑いといいますか、あの表情を忘れることができません。まさに先制パンチだったわけですね。

中継が終わると、田中先生が小走りで選手がいる大広間に向かって行かれて、何をするのかと思ったら、「みんな、先生、勝ったか。勝ったか。そうか勝ったか。うわあっ」ってやられたんですよ。そうすると、みんなも「うわあっ」って、すごい盛り上がりを見せました。その流れで花園へ向かっていって、ゲームはロースコアでしたけれども、天理高校が勝ちきったという、6回目の優勝でございました。私はあの先制パンチが効いたと思っております。

10年ぐらい前に田中先生の定年パーティーが行われました。私は司会でお邪魔したんですけれども、田中先生が「みんな何であんなしんどい練習についてくれたのかな」とおっしゃるんですよ。そうすると、OBの方が「何言っているんですか。みんな、克己さんの言うことを聞いていたら、絶対日本一になれると信じたからです」と言われました。田中先生の指導力というか人間力というか、ここまで教えるほうと教わるほうがつながっているというのは珍しいのじゃないかなと感じ、本当にいいシーンに立ち会えたなと思っております。

おととい、試合が終わった後、天理高校のOBの方がうつすらと目に涙を浮かべながら、「克己さんが亡くなった年に花園に出られて本当に良かった」とおっしゃっていて、ああやっぱり今年はそういう巡り合わせもあったのかなという感じがいたしました。

よく聞かれる質問に「スポーツ中継のとき、トイレとかどうなさっているんですか」というものがあります。昔は「そんなものは集中していればありません。行きたくなるアナウンサーは集中力が足りないんです」と答えていました。しかし、阪神が出場した日本シリーズで大変な尿意に襲われました。試合前から番組中継がメジロ押しでトイレに行けず、10月の寒さからつらい状態になりました。何とか耐えていたんですけども、ゲームが5対5で延長に入ってしまった。延長10回の裏1アウト、金本さんがスライダーをライトにカーン、私はあのときほど白球が神々しく見えたことはありませんでした。「飛び込んだあ(やったあ)」。九死に一生とはあのことだと思いましてね。

その後はもちろん、試合途中でトイレに行くアナウンサーの話になっても「うんうん、それはありますよ。ええ、防ぎようがありません」と、私のコメントが180度変わったのは言うまでもありません。

いずれにしても、4回の日本シリーズの中継では貴重な経験をさせてもらいました。本当に幸せなアナウンサーだったなという思いがございます。

現在は奈良テレビで夏の高校野球奈良県大会を担当しております。また、KCN(近鉄ネットワークテレビ)でも「タイガースV特急」を担当しております。来年のタイガース2軍監督、平田勝男さんの抜群のトーク技術も見られますので、ぜひお楽しみください。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
11月19日	91	58	53(0)	5	0	33	22	1	93.83%
11月12日	91	58	52(0)	6	0	33	18	0	92.11%
11月10日	91	58	42(0)	16	2	33	17	1	81.58%

()内の数字はWEB出席者数内訳